



北小 放課後子ども教室の方々

放課後子ども教室 水曜日 下校~5時まで

小学校の水曜日は5時間授業、いつもより下校時刻が早い日です。そんな日には、思いきり遊んでもらいたい！そんな願いをもって子どもたちといっしょに過ごそうと、いろいろな方が集まってくださいました。遊び終わった後の下校の安全は、「えがお見守り隊」の方々により支えられています。

下諏訪北小



大工さんが木工の楽しさを



好きなことをして思いっきり遊びます



入口の靴は、きちんと揃えられています

下諏訪南小



手作りの台車に乗ってラクチンだなあ！



厚紙で竹とんぼ作りを



コマ回しを楽しみます



宿題をしたり、お絵かきを楽しんだり

えがお見守り隊



北小 放課後子ども教室 えがお見守り隊の方々



南小 子どもたちを後ろから見守ってくださいます

東鷹野町 細川まつ子さん
私は子ども好きです。それで、始まってから今年の三月までの四年間、南小で放課後子ども教室のお手伝いをやらせてもらいました。一緒に本を読んだり折り紙をしたりと、子どもたちとの対話が楽しく、子どもたちから元気ももらいました。人生のうちでよい時間をいただき、幸せでした。



南小三年二組の畑づくりを支援して

東高木 松倉 秀雄

昨年三年二組の子もたちが大豆栽培に取り組み、農業委員として支援をしました。学校として食育を地域とかがわりあつて学んでいく事が大切であり、子どもたちは体験学習の中で大豆がどのように成長して実るのかを観察しました。農作業は、大豆についての知識を深める生きた教材であると思いました。四月に遊休農地であった畑の雑草を取りのぞき、栽培できる状態に耕しました。六月初旬に、みんなで種まきをしました。前の年は大豆栽培に失敗したという事で、「今年こそ」と願いをこめて、四粒ずつ協力して種まきできました。その後無事

に芽生えて、六月末には成長した苗を二本残す間引き作業をしました。子どもたちは土にふれる楽しさを体験しました。順調に成長していましたが、夏になるとまれにみる猛暑で、連日の水やりとなりました。やがて大きな葉の下に可憐な紫色の花が咲きました。後になって、その紫色の花の話を子どもたちにした時、実際に花を観察していた子どもが嬉しく思いました。やがてサヤに種子がついて無事に豆が実りました。収穫は昔ながらのやり方で、自分たちで叩いたり手で豆を取り出したりしました。「今年こそ収穫を」という子どもたちの強い願いが叶い、二年越しの収穫となりました。



お世話になった人をご招待しての「お礼の会」

今年になり三年二組のお礼の会に招待されました。子どもたちが「大豆の歌」を作り、みんなで歌い披露してくれました。またお礼のしおりもいただき、感謝でした。こうした大豆栽培の貴重な体験は、担任の先生の前向きな教育姿勢による成果だと痛感しました。今後も子どもたちが、食育活動により自然の恵みを理解していくことが大切であると感じました。



自分たちが作ったみそを使ってみそ汁を作りました



自分たちが作詞した「大豆のうた」を歌う



大豆作りを劇にして

社中 しもすわ「三角八丁」見所ガイド ~駅から99分のまち歩き散策コース~

④下馬橋

太鼓橋とも呼ばれます。天正6年(1578)に建てられ、元文年間(1736年頃)に修理されたといわれます。

この橋から奥は神域です。どんな高貴な人でもここで下馬し、橋の下を流れる御手洗川(みたらしがわ)で手を洗い、口をすすいで参拝したことからこの名がついたといわれます。2月には春宮へ、8月には秋宮へと、神様がこの橋を渡ってお住まいを移されます。

